

青い目の人形

エセル・ディーン

青い目の人形とは、昭和2年（1927年）日本とアメリカ合衆国との親善を願い、日本の子どもたちへ贈られた人形です。その数は約1万2000体で、人形にはアメリカの子どもたちの友情がこめられています。当時、青い目の人形は大歓迎され、小学校や幼稚園でアイドルとなりました。日本からも58体の答礼人形がアメリカに贈られ、友情の交流が行われました。

細谷小学校には、「エセル・ディーン」がやってきました。

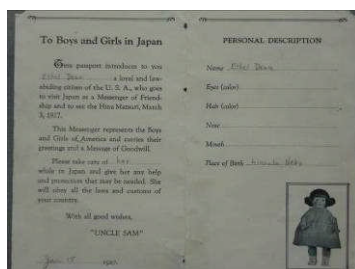
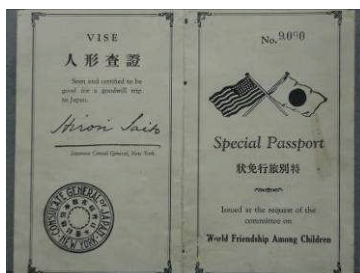
昭和2年9月、二川駅から校長先生が人力車でお迎えして以来、大切に保管されています。

昭和16年（1941年）から日本とアメリカの間で、戦争が始まりました。親善のシンボルだった「青い目の人形」は、敵の国の人形とみなされ、竹槍で突かれたり、火の中に投げ込まれたりして、ほとんどの人形が処分されてしまいました。しかし、細谷小学校の「エセル・ディーン」は木箱に入れて隠されていたため、戦争を乗り越え、現在も残っています。当時の校長先生たちが人形を保管したと伝えられています。

昭和50年（1975年）校舎を建て替えることになりました。「エセル・ディーン」はこのとき見つけ出されました。はじめは誰も、この人形が青い目の人形だとわかりませんでした。「エセル・ディーン」は、頭髮部分がやや失われたものの保存状況は良好です。旅券（パスポート）、切符、身分証明書、人形を作ってくれた方の直筆の手紙、人形を迎えて歌った歌の歌詞や楽譜など、当時の資料がすべてそろっています。

平成元年（1989年）、「エセル・ディーン」は約60年前の手作りの服、靴を履いて故郷ネブラスカ州に里帰りしました。

現在、細谷小学校の校長室で元気に過ごしています。



身分証明書

Dear little Japanese friends,
Ethel Dean brings to you and to your dolls the love and greetings of girls and dolls of America. May learn to know and love your own especially the doll festival! I hope that each year she will have a part in your festival.
I'm going to play with you Ethel Dean is taking a journey very little girl in America would like to tell. I'm sure she will find a warm welcome at her journey's end and that you will be her mother for many years to come.
Cordially,
An American friend
Ethel Rutledge

直筆の手紙



答礼人形「みやこ」